

育成モノづくり人材

Vol. 90

愛知県立碧南工業高校

モノづくりが盛んな長方形のまち、2年愛知県三河地域にある生全生徒のインターン碧南工業高校。「人間シッポ(就業体験)をここの大変さを実感し教育すること技術で必須とするなど、地元でもらったり、仕事内の製造業を支える容が合うのか合わない人材の育成に尽力してのかが感じてもらったいる。技能検定で実績りするのが狙い。



稲垣校長

【DATA】▷校長=稲垣孝臣氏▷所在地=愛知県碧南市▷学科構成=〈全日制〉機械科、電子工学科、建築科、環境工学科▷生徒数=707人▷主要設備=マシニングセンター(MC)、フライス盤、溶接設備、3Dプリンター、シーケンス制御装置▷主な進路=トヨタ自動車、デンソー、ジェイテクト、ニッセイ、豊電子工業、愛知工業大学、中部大学など

環境対策でも地域に貢献

重ねているほか、全国就業体験後に「力に初で愛知県唯一の環境工学科を持ち、環境対策を進める企業から評価を得ている。インターンシップはここ数年で高まり、90%台で推移している。地元製造業が中心。3、4日間通い、仕事に興味を持たせ、働く技能が身に付きにくく

【DATA】▷校長=稲垣孝臣氏▷所在地=愛知県碧南市▷学科構成=〈全日制〉機械科、電子工学科、建築科、環境工学科▷生徒数=707人▷主要設備=マシニングセンター(MC)、フライス盤、溶接設備、3Dプリンター、シーケンス制御装置▷主な進路=トヨタ自動車、デンソー、ジェイテクト、ニッセイ、豊電子工業、愛知工業大学、中部大学など

で河川を浄化するロボットを合わせたロボットで技術賞を受賞しており、評価は高い。地元企業に就職する生徒が多いこともあり「地域に根差して貢献する」(同)活動に主眼を置く。小学生対象の工作教室や化学実験教室の開催をはじめ、祭りやイベントでの街づくり案の提案などを行う。碧南市から部活動の練習場所を優先的に利用させてもらっており、地元自治体と良好な関係にある。「県立の高校が市町村と連携した活動は珍しい」と胸を張る。



名古屋市の堀川でのコンテストに参加した河川浄化ロボット

今後、現場で事故などを起こさないための安全教育をさらに徹底するほか、図面を読み取る力の向上などで、企業に求められる人材の育成に力を入れる。(名古屋・市川哲寛) (金曜日に掲載)